

## 18 未来へのメッセージ



成田きんさん

蟹江ぎんさん

106才のたんじょう日の写真。大きいろうそく1本が100才なんだよ。すごいでしょ？

写真提供 中日新聞社

さいごに、名古屋に生まれ、日本一の長生きとなったふたごのおばあさん、「きんさん」と「ぎんさん」をしょうかいします。おふたりは、100才のときに、テレビのコマーシャルに出えんして人気者となりました。そして、全国の人々に「年をとっても、こんなに明るく元気で生きられるよ」と、大きな希望と勇気をあたえました。きんさんが生きた107年間、ぎんさんが生きた108年間にはいろいろなことがありました。そう、この本でしょうかいした愛知県の歴史や文化をじっさいに身をもって体験してきたのです。ぎんさんは、鳴海絞を夜なべ仕事でやりましたし、名古屋城が戦争の空襲で焼け落ちるのを泣きながら見ました。伊勢湾台風では、おそいかかる海水や流木とたたかい、悪夢のような一夜をぶじに生きのびました。しかし、おちゃめで、かわいいふたりは、いつも笑顔をわすれませんでした。そして、「どんなにつらくてもなあ、おてんとうさま(太陽)は、明日になれば、また出てござるわ」と、いつも前向きに、たくましく生きぬいたのです。

- きんさん「悲しいことは考えずに、楽しいことを夢見ることだよ。」
- ぎんさん「じぶんから何かをする気持ちをもつことがだいじだね。」

これから大きくはばたいていくわたしたちへの大切なメッセージです！

そして、5人は取材を通して感じたことや、これからの愛知県について話し合いました。

日本一の産業、海や山の名物、自然のゆたかさ、長い間受けつがれてきた伝統文化、地いきをささえる人々など、わたしたちの近くに愛知のいいものがいっぱいあることがわかりました。



愛知に生きる人々が、住みよい社会をめざして知恵を出し合い、汗を流してがんばっているから、わたしたちは元気にくらせるんだね。



これからも産業や技術をのばして、もっとくらしやすい社会にしていこうと思いました。



ぼくらが大人になった、2025年には4人に1人がお年よりになるといわれています。地球温暖化やエネルギー不足の問題も気になるね。



みんなで力をあわせて、いろいろな問題をかいて決していかなきゃ。そのためには、きんさん、ぎんさんのように、いつも元気よく、前向きに生きていこうと思いました。



これからの愛知県のすがたや取り組みについては「新しい政策の指針」にくわしくのっています。先生や家の人といっしょに愛知の未来を話し合ってみよう！「新しい政策の指針」のホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kikaku/>